

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 23 日

事務事業名		社会福祉協議会助成事業(法人運営)				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	020301000465	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	補助	所属課	040101	
政策体系	総合計画の施策名	0203 地域福祉の推進				主要事業	対象外		社会福祉課	
	政策名	02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				市長マニフェスト	対象外			
	施策名	03 地域福祉の推進				未来PJ事業	対象外	グループ	社会福祉G	
	基本事業名	01 社会福祉活動の推進				合併建設計画事業	対象外			
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	03	01	01	02	00	社会福祉総務事業			
法令根拠	社会福祉法 桜川市補助金等交付規則						単年度繰返し (年度~)			
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

手段	① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)		② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>【事務事業の内容】 社会福祉法第109条に基づき設置された社会福祉法人桜川市社会福祉協議会は民間事業者では担えない公共的な福祉サービスの提供を行っており、団体としての必要性や公益性は非常に高く行政と地域の橋渡しとなっている。このように地域福祉活動を行っている社会福祉協議会に対し、職員の人件費等の一部を助成している。 【事業費の内訳】 補助金</p>		<p>【担当者が行う業務の手順】 社会福祉協議会からの年間活動計画に基づく補助金申請を受理、審査、補助金の交付決定、補助金の交付。実績報告書の受理及び審査。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
社会福祉協議会からの年間活動計画に基づく補助金申請を受理、審査、補助金の交付決定、補助金の交付。実績報告書の受理及び審査。	助成額	円	27,460.00	27,460.00	27,460.00	27,460.00	27,460.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
桜川市社会福祉協議会及び市民	社会福祉協議会職員数	人	13.00	13.00	12.00	12.00	12.00
	人口	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
桜川市社会福祉協議会の財政基盤の充実により、市民に対し安定的な福祉サービスの提供を行うことができる。	社会福祉協議会の事業数	件	8.00	9.00	9.00	9.00	9.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	内訳	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
量	費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	27,460	27,460	27,460	27,460	27,460	27,460
	事業費計(A)	千円	27,460	27,460	27,460	27,460	27,460	27,460	
人件費	量	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	/
		述べ業務時間	時間	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	
		人件費計(B)	千円	203	203	203	203	207	
トータルコスト(A)+(B)				千円	27,663	27,663	27,663	27,667	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	項目	金額		項目	金額	
	19 負担金補助及び交付金	27,460		19 負担金補助及び交付金	27,460	
	合計	27,460		合計	27,460	

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	社会福祉協議会助成事業(法人運営)	事務事業No.	20301000465	所属課	社会福祉課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

・社会福祉法第109条に基づき、地域福祉の推進を目的とする団体で、個人や団体の福祉活動の支援や福祉への市民参加の促進、福祉についての情報提供を行う。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	社会福祉協議会の財政基盤が充実することにより、市民に対し、継続的・安定的に福祉サービスを提供することができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	社会福祉法第58条第1項に基づく支出である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	社会福祉協議会においても自助努力による助成額の削減に努め、適正な法人運営を行っており、成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	社会福祉協議会は市の地域福祉の中核を担っているが、社会福祉法人であり営利を目的とする団体でないことから自主財源の確保が難しいので廃止は困難である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似団体がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業の低下につながり、必要最小限の人件費であるので事業費を削減する余地はない
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	社会福祉協議会は市の地域福祉の中核を担っているが、社会福祉法人であり営利を目的とする団体でないことから自主財源の確保が難しいので、人件費の一部を助成する費用負担は適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑤																							
		コスト削減優先度評価結果	②																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>